



ひょうごフィールドパビリオン

Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs

無名パビリオンたちの生き残り戦略



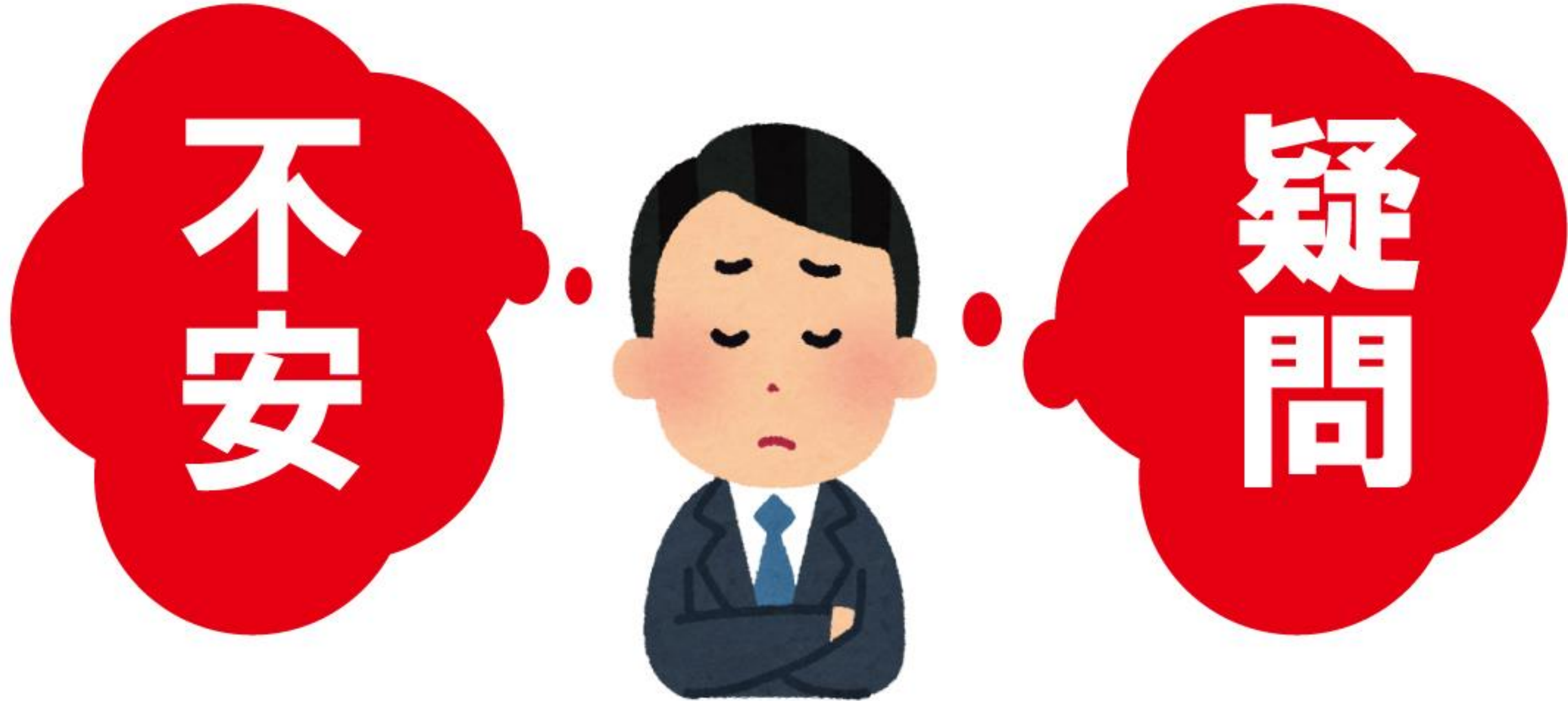
ひょうごフィールドパビリオン淡路島地区ネットワーク



ひょうごフィールドパビリオン

Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs

認定してもらったはいいが...





ひょうごフィールドパビリオン

Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs

つまり…

認定してもらっただけでは



集客にならない！





ひょうごフィールドパビリオン

Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs

女将、どうしますか？

うむ、想定内の範囲内だ。

これは淡路島でまとまる
必要がある！
森下、まとめてこい！

かしこまりました!!!

さて、どこから何をしようか…

とりあえずアポ取って会いに行こう！



ひょうごフィールドパビリオン

Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs

島内プレイヤーから聞こえてきた本音。



あと1年後なのに、みんなのモチベーションは低い！



ひょうごフィールドパビリオン

Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs



しかし…ひとつだけ一致していたことがあった！

「淡路島のために！」
「この島の未来のために」

=

シビックプライド



ひょうごフィールドパビリオン

Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs

女将、どうまとめましょう？



目的が同じなら私たちは
チームになれる！！

ネットワーク化しよう。

チームになれば、

それぞれの得意不得意を

補うことができる！



かしこまりました!!!



ひょうごフィールドパビリオン

Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs

2024年3月27日に島内プレーヤー、淡路島観光協会、淡路県民局、万博推進課を巻き込んだ、賛成多数により「ひょうごフィールドパビリオン淡路島地区意見交換&ネットワーク発足ミーティング」が誕生。





ひょうごフィールドパビリオン

Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs

「ひょうごフィールドパビリオン淡路島地区ネットワーク」の取り組み

得意不得意をカバーし合うチーム！

開催1年前は重要なPR期間だ！やるべきことは…



島内パビリオン同士のネットワーク化による情報共有による磨き上げの相乗効果
(メール、グループLINEを使い共有する)

ネットワーク内のFPプレーヤー同士によるコラボレーション、
連携などによる集客への期待

相互送客、アクセスや体験方法をお客様へ相互発信する(ガイドブックなど)

取り組み事例：ツアー化

●あわかんツアーズ沼島の旅

沼島おのころクルーズへの送客（毎週日曜日）



あわかんツアーズ沼島の旅・参加料金
定員 10名（最大乗人数20名、乗車11名）

大人	6,000円
小学生	3,000円
未就学児	1,500円

※お申し込みは0799-26-0111まで

2024年 開催スケジュール

開催月	開催日	開催時間
6月	7日(日)	10:00 - 12:00
10月	6日(日)	10:00 - 12:00
11月	4日(日)	10:00 - 12:00
12月	1日(日)	10:00 - 12:00

「沼島の旅」お問合せは 0799-26-0111 まで

その1 地元の漁船に乗って、ぐるっと島一周クルージング！

船長の説明を聞きながらクルージング。あわかんツアー専用船の18メートルの船でクルーズして、おのころ島上陸し、沼島の歴史について「沼島の歴史」を学び、船長の話も聞ける。船内乗船（12名以内）は予約制です。

その2 沼島の旬を味わうランチ&レトロカフェと散歩！

海鮮お弁当「漁」
新鮮な魚介類を使ったお弁当。お弁当は、おのころ島産の新鮮な魚介類を使用し、おのころ島の旬を味わえます。

和食お弁当「大平（DANBI）」
おのころ島産の新鮮な魚介類を使用したお弁当。お弁当は、おのころ島の旬を味わえます。

言葉 バッタリカフェ
おのころ島の歴史や文化を学ぶためのカフェ。おのころ島の歴史や文化を学ぶためのカフェ。

沼島のシンボル「S-BRICK」
沼島・洲本市の玄関口、洲本（センター）から見える、鐘楼のある赤レンガ造りの大きな建物。かつて製糖工場としてまわりの景観を築き、製糖業として文化を築いてきたこの建物は、2021年にS-BRICKと名前が変わり、交流拠点に生まれ変わりました。沼島のゆたかな食を愛するエリア、子どもたちが自由に遊べるエリア、創作体験を満喫するクラフトエリアに、コワーキングスペース、「食べる」「あそぶ」「楽しむ」「はたらく」がぎゅっと凝縮された建物は、地域の皆さまも、観光に訪れた方も、気軽に立ち寄り楽しめる場所です。また、S-BRICKは兵庫県の大塚国際美術館向けに作り組み「ひょうごフィールドパビリオン」のSDGs地域体験型プログラムに認定されています。

●雨の日でも楽しい！クラフトワーク体験

シマトワークス（S-BRICK）への送客（雨の日）

雨の日でも楽しい！クラフト体験&洲本まちあるき

“あわかん”から「S-BRICK」へご送迎します！！

赤いレンガが目印！S-BRICK「クラフトワーク体験」

- 島の素材や廃材でクラフトワークが楽しめます！
- 「手ぬぐいシュッシュュ」**
製作時間：10分
体験料金：200円
 - 「ソーキーホルダー」**
製作時間：5分
体験料金：200円
 - 「手ぬぐい小物入れ」**
製作時間：5分
体験料金：500円
 - 「素材をつかって作ってみよう」**
利用時間：45分
体験料金：500円
- ※体験料金は現地でお支払いください

洲本のシンボル「S-BRICK」
沼島・洲本市の玄関口、洲本（センター）から見える、鐘楼のある赤レンガ造りの大きな建物。かつて製糖工場としてまわりの景観を築き、製糖業として文化を築いてきたこの建物は、2021年にS-BRICKと名前が変わり、交流拠点に生まれ変わりました。沼島のゆたかな食を愛するエリア、子どもたちが自由に遊べるエリア、創作体験を満喫するクラフトエリアに、コワーキングスペース、「食べる」「あそぶ」「楽しむ」「はたらく」がぎゅっと凝縮された建物は、地域の皆さまも、観光に訪れた方も、気軽に立ち寄り楽しめる場所です。また、S-BRICKは兵庫県の大塚国際美術館向けに作り組み「ひょうごフィールドパビリオン」のSDGs地域体験型プログラムに認定されています。

広いキッズスペース（無料）

小さいお子さまにおすすめです
人工芝が広がる室内広場スペースです。玉ねぎモチーフにしたベンチやプランコのようなスウィングベンチ、広場のように入遊べるエリアの他、授乳室も完備しています。（S-BRICK内にご覧いただけます）

洲本のまちあるき

洲本レトロこみち
城下町としてかつて多くの人たちが行き交った町並みに、「洲本レトロこみち」があります。車が通れるが通れないくらいのはっきりとした路地のんびり歩いておやつやお買い物。昔のあいまにちょっとお散歩しませんか？

送迎時間

- あわかん発 ①14:00 ②16:00
- S-BRICK発 ①16:10 ②18:00

※緊急連絡先 0799-26-0111



ひょうごフィールドパビリオン

Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs

取り組み事例：イベント化

●縁日屋台 戎な夜（エビスナイト）

淡路人形座のPRと送客（隔週土曜日）



●お香当てクイズ（当たったらお香プレゼント）

兵庫県線香共同組合「お香」のPR





ひょうごフィールドパビリオン

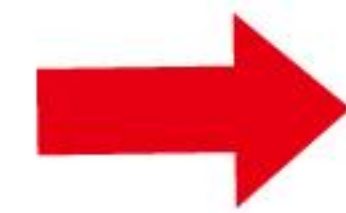
Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs

取り組み事例：ターゲットを合わせる



「あわかん」の施策
(ファミリー層)

(2024年9月より開始)



●「吹き戻しの里」
入場料 & 体験特典



●「香の館パルシェ」
体験 & 来館特典



●「パソナ農援隊」
体験特典





ひょうごフィールドバビリオン

Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs

取り組み事例：周遊のきっかけづくり

体験場所やアクセス、料金が一目でわかる
ガイドブックを作成しよう！



みんなが使える
ものがないね





ひょうごフィールドパビリオン

Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs

万博はきっかけであり通過点

私たちの目的は、
淡路島で暮らすことに誇りを持ち
淡路島で事業を起こし、
夢を見ることが出来る島にすること。

その目的達成の日まで
このチームの取り組みは続く！

